

飲酒運転根絶メッセージ

2005年5月22日。この日は、新入生の恒例行事である「さつき祭」の一環として、本校多賀城校舎から松島研修センターまで、約22.5kmのウォークラリーが行われていました。そして、出発したばかりの早朝、生徒の列が八幡交差点に差し掛かった時。飲酒運転をしたRV車が生徒の列に突っ込んできました。この事故により、3人の先輩方の尊い命が突然奪われ、多くの人々が心と体に深い傷を負いました。仙台育英学園では、事故で犠牲となった3人のご冥福を心から祈り、二度とこのような悲しみが起こらないよう、そしてこの事故を風化させないために、毎年5月22日を「I-Lion Day」に制定しております。

今年で、あの悲惨な事故から14年という月日が経ちます。14年と聞くと、とても長い時間が経過したように思えますが、飲酒運転は今日まで無くなることはありません。人々の飲酒運転に対する意識が変わらなければ、同じ過ちが何度も繰り返されます。飲酒運転による交通事故は、被害者、運転していた人だけでなく、同乗していた人、家族、友人、恋人など、周りのたたくさんの人々の人生をも一変させてしまいます。しかし、飲酒運転は、一人一人が『しない・させない・許さない』ということ意識することで、必ず未然に防ぐことができると思います。

あのような悲しい事故を、もう二度と起こさないために、私たちは、安全な交通社会の実現を目指し、宮城県民の皆様と共に、これからも飲酒運転根絶に全力を尽くすことを、ここに固く誓います。

令和元年5月22日

令和元年度 仙台育英学園高等学校
生徒会長 楯 慎之介

